

「関係人口」創出事業」モデル事業 採択団体（一覧）

< パターン（1） >

（※下線は複数団体の連携）

<★パターン（1）① 16団体（うち①②重複3団体）>

北海道（苫小牧市・長沼町・安平町・奥尻町・占冠村・美幌町）、
北海道夕張市、岩手県住田町、秋田県鹿角市、新潟県柏崎市、
長野県泰阜村、岐阜県郡上市、
三重県（伊勢市・尾鷲市・鳥羽市・熊野市・志摩市・大台町・玉
城町・度会町・大紀町・南伊勢町・紀北町・御浜町・紀宝町）、
鳥取県日野町、香川県三木町、愛媛県西条市、福岡県うきは市、
鹿児島県肝付町

<◆パターン（1）② 8団体（うち①②重複3団体）>

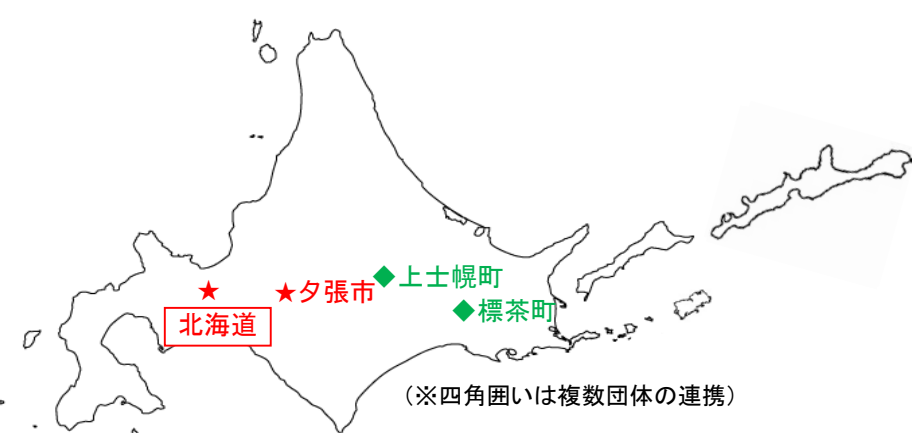
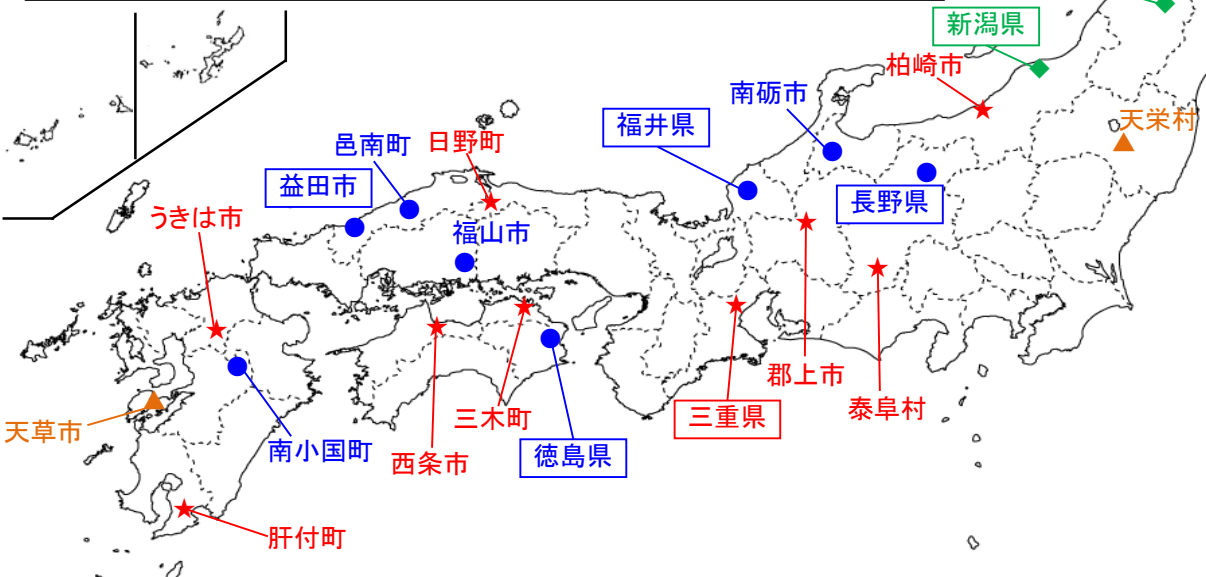
北海道上士幌町、北海道標茶町、岩手県花巻市、山形県最上町、
新潟県（新発田市・魚沼市）

<▲パターン（1）①②重複 3団体>

秋田県横手市、福島県天栄村、熊本県天草市

< パターン（2）9団体 >（※下線は複数団体の連携）

岩手県（一関市・釜石市）、富山県南砺市、
福井県（福井市・鯖江市・美浜町・若狭町）、
長野県（長野市・小川村）、
島根県益田市（津和野町・吉賀町）、
島根県邑南町、広島県福山市、
徳島県（美馬市・佐那河内村・美波町）、
熊本県南小国町



（※四角囲いは複数団体の連携）

【取組の内容】

パターン(1):

地域との関わりを持つ者のうち、その地域にルーツがある者等又はふるさと納税の寄附者に対して、地域と継続的なつながりを持つ機会を提供する取組

- ①: その地域にルーツがある者等を対象に、「関係人口」を募る仕組みを地方公共団体が設け、その取組に賛同する者に対して地域と継続的なつながりを持つ機会を提供する取組
- ②: ふるさと納税を行った者（寄附者）に対して地域と継続的なつながりを持つ機会を提供する取組

パターン(2):

これから地域との関わりを持とうとする者等であって、スキルや知見を有する都市部の人材等が、地域課題に関する講座を受講し、地域において地方公共団体と協働して実践活動等に取り組むことなどにより、都市部で暮らしながら、地域課題の解決等に継続的に関わるきっかけを提供する取組

「「関係人口」創出事業」モデル事業 採択団体

パターン（１）①（その地域にルーツがある者等に対して）

提案団体	事業のポイント、独自性
北海道 【苫小牧市 ほかに5町村】	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道につながるのある、首都圏や札幌圏等の都市住民を対象に、地域イベントや地域づくり活動への参加・参画の機会を提供し、地域へのつながりを深める。 ・6市町村において、「ふるさとサポーター倶楽部(仮称)」を創設。 ・道が「関係人口案内サイト」を構築するほか、首都圏で「交流カフェ(仮称)」を定期的開催し、関係人口と地域との関係を継続させる。
ゆうばりし 夕張市 (北海道)	<ul style="list-style-type: none"> ・市の再生を願う元市民等を対象に、市内で活動する地域人材である「活動人口」との人的ネットワークを構築。 ・廃校を活用し、集落の課題解決を図るプラットフォームを構築。 ・古き良き夕張の写真を投稿してもらう「バーチャル博物館(仮称)」を構築し、写真を通じてつながりを持った者に対して、SNS等で夕張の取組を情報発信する。
すみたちょう 住田町 (岩手県)	<ul style="list-style-type: none"> ・出身者等で構成される「すみた大好き大使」や地域づくりインターンで町を訪れたことのある大学生等を対象に、地域の課題を話し合う場を設ける。 ・「すみた現地ツアー」を開催するとともに、年2～3回程度、広報誌を発送。 ・東日本大震災の復興過程において構築されたネットワークを持つ団体が、中間支援組織として関係人口と町関係者のマッチングや連絡調整等を担う。
かづのし 鹿角市 (秋田県)	<ul style="list-style-type: none"> ・市に縁がある人たちを対象に、「鹿角家」という関係人口のネットワークを構築。 ・「家族会議」(交流イベント)や現地での「実家暮らし体験ツアー」を実施するほか、空き家をリノベーションして、「鹿角家」が市内に滞留するための拠点づくりを検討する。 ・地域おこし協力隊OB・OGが中核となるNPO法人と連携。
かしわざきし 柏崎市 (新潟県)	<ul style="list-style-type: none"> ・「柏崎ファンクラブ」(H28～)会員のうち、首都圏在住の20～40代を対象に、谷根地域のイベント(たんねのあかり)を通して、当該地域について学び、実践する機会を提供。 ・「かしわざきカレッジ 谷根学部(仮称)」を開設し、講義による学び、現地見学による接触、イベント準備による実践といった3つのステップで、地域への関わりを深める。 ・次年度以降、地域イベントを媒介として、市内各地域に展開予定。
やすおかむら 泰阜村 (長野県)	<ul style="list-style-type: none"> ・村内のNPO法人が実施しているキャンプ事業の参加者・ボランティア経験者や、山村留学の卒業生・保護者等に、再度村を来訪してもらうことにより、関係人口を創出する。 ・過去の参加者や保護者がボランティアとして参加するほか、それぞれの事業参加者が年代により次の事業にステップアップし、村の課題解決に資する活動を実施。
ぐじょうし 郡上市 (岐阜県)	<ul style="list-style-type: none"> ・「郡上カンパニー」(H29～)をはじめとする取組により生まれた、役割を持って郡上に関わりたいという明確な意思を持つ都市住民を対象に、プラットフォームを構築。 ・現地見学会やフィールドワーク、地域活動団体等との意見交換を通じて、未利用資源を発掘するプログラムを実施。 ・「関係人口管理システム」を構築し、参加者それぞれの関わりに応じた情報提供を実施。
三重県 【伊勢市 ほかに12市町】	<ul style="list-style-type: none"> ・県南部地域にルーツがある者等を対象に、明治初期に県南部地域に実在した「度会県(仮称)」の「県民」となってもらい、「県広報」等による情報提供を行う。 ・「県民」に協力してもらいたいことを「県民プロジェクト」として提示し、実際に「県民」に活動に参画してもらう。 ・webサイトでのバーチャルな交流と、都市部でのリアルな交流を組み合わせる。

【】内は、提案団体と連携する団体

「「関係人口」創出事業」モデル事業 採択団体

提案団体	事業のポイント、独自性
<p>ひのちよう 日野町 (鳥取県)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町出身者や通勤・通学者、ふるさと納税の寄附者等を対象とした「ふるさと住民票」(H28～)の登録促進を図るとともに、町政への意見募集や「ふるさと住民」の交流等を実施。 ・「ふるさと住民票実施自治体ネットワーク」を構築し、「ふるさと住民票」に取り組む他の自治体との意見交換を行う。
<p>みきちよう 三木町 (香川県)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・香川大学生や首都圏の住民等に対するPRを強化し、「ふるさと住民票」(H29～)の登録促進を図る。 ・体験ツアー等の町に触れる機会の多様化、地域づくり活動や情報発信への参画などを通じて、段階に応じた「ふるさと」との関係性の深化を図る。 ・町職員の志願者で構成する「ふるさと住民票PT」が中心的役割を担う。
<p>さいじょうし 西条市 (愛媛県)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用した「Love Saijo ファンクラブ」を中心に、市民と関係人口のネットワークを構築し、棚田や里山の再興や特産品開発等の協働実践活動と関係人口をマッチングする仕組みを確立する。 ・地域活性化や地域課題の解決に活用する「西条市ふるさと基金(仮称)」の設置と併せて、自立循環型のプラットフォームを構築。
<p>うきは市 (福岡県)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東京のアンテナショップを拠点として、市出身者等を対象に「東京うきは応援団(仮称)」を結成し、地域産品購入のきっかけ作りや現地ツアー等を実施。 ・連携協定を結ぶ福岡都市圏の企業等を「うきはパートナー団体(仮称)」と位置づけ、特産品の社内販売会を実施するほか、社員の農業体験や地域づくり活動の機会を提供。
<p>きもつきちよう 肝付町 (鹿児島県)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町の観光客やファンを中心とする「ウチノウラキモツキ共和国国民制度」(H27～)の「国民」を対象に、属性の分析や意向調査を実施し、「国民」へのインセンティブ等を検討。 ・「宇宙の町」づくりに積極的に関わる「国民」を「プラチナ国民」とし、イベントの企画・運営や町の情報発信に参画してもらう仕組みづくりを検討。

【】内は、提案団体と連携する団体

「関係人口」創出事業 モデル事業 採択団体

パターン（１）②（ふるさと納税を行った者（寄附者）に対して）

提案団体	事業のポイント、独自性
かみしほろちょう 上士幌町 （北海道）	<ul style="list-style-type: none"> ・移住交流促進プロジェクトや起業家支援プロジェクトへの寄附者（ふるさと未来投資家）を対象に、交流イベント・セミナーや、移住体験モニタリングの実施、プロジェクトの対象施設の現地視察を行う。 ・寄附者メールリスト登録者等へのアンケート・ヒアリングを行い、町への応援方法の調査・分析や、寄附者の職種やスキル把握による「応援人口」の実態調査を行う。
しべちやちよう 標茶町 （北海道）	<ul style="list-style-type: none"> ・乗馬体験等のツアー参加者や連携する乗馬クラブの会員を中心とする都市圏の乗馬ファンを対象に、馬の飼育等に活用するふるさと納税を募る。 ・コアな層を「ホースタウン・広報官」として任命し、会議や現地視察等を通じ、町の広報・PR等に協力してもらう。
はなまきし 花巻市 （岩手県）	<ul style="list-style-type: none"> ・市の地域資源（食文化や伝統文化等）に関わる物語のパンフレットをふるさと納税の返礼品とし、物語に共感した寄附者に対し、物語を現地で直接体験できる場を提供する。 ・体験を通じて物語を取材、再編集し、冊子等で発信する場を提供する。 ・ファンクラブ型のクラウドファンディングを利用し、定額の寄附を継続的に受け付ける。
よこてし 横手市 （秋田県） ※	<ul style="list-style-type: none"> ・出身者や寄附者を中心とする「応援市民」を対象に、市への応援方法を検討する「横手応援市民学校」を開催。 ・応援方法を少人数の「応援研究ゼミ」で精査し、「応援市民」が中心となって実施。一連の応援までの流れについて課題等を検証し、応援サイクルを構築。 ・庁内に「応援人口研究会」を設置し、条例による「応援市民」の位置づけ等を検討。
もがみまち 最上町 （山形県）	<ul style="list-style-type: none"> ・寄附者を対象に、町の取組に関する報告会を東京都内で開催するほか、寄附を活用した事業の視察や町内産品の魅力向上を目的とした生産現場の視察を実施。 ・「ふるさと納税大感謝」への参加や、出身者で組織され、現在も寄附者を多く抱える関東圏と仙台圏の「友の会」会員を対象とした報告会を実施し、寄附者の裾野を広げる。
てんえいむら 天栄村 （福島県） ※	<ul style="list-style-type: none"> ・移住交流促進プロジェクトとして、移住や就農に関するガバメントクラウドファンディングを実施し、ふるさと納税を募る。 ・寄附者やルーツがある者等を対象に、ふるさと納税事業報告や村広報の発信、「第三のふるさと天栄村民パスポート」の発行を実施するほか、現地においてガバメントクラウドファンディング公募事業の関係者や地域住民とのグループワークや視察の機会を提供。
新潟県 【新発田市・魚沼市】	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税等を契機につながりを持つ「ふるさと新潟応援団」（H20～）を主な対象に、新潟の魅力や課題等を学ぶ「にいがたゼミナール（仮称）」を開催し、関心を深化。 ・連携する2市でのモニターツアーの実施や、ふるさと納税を活用した起業家支援事業の活動現場の視察により、関与を深化。
あまくさし 天草市 （熊本県） ※	<ul style="list-style-type: none"> ・出身者等で構成される「ふるさと会」の会員や、会員以外の出身者や寄附者等を「ふるさと住民」として登録する。天草暮らしの体験ツアーや、天草エアライン運賃の島民割引価格での提供により、地域へ来訪してもらう。 ・登録の際に把握した属性や「市のためにできること」を、地域や企業との「ふるさとマッチング制度」に活用し、「ふるさと支援員（仮称）」として活動の場を提供。

【】内は、提案団体と連携する団体

※は、パターン（１）①・②双方に取り組む団体

「関係人口」創出事業 モデル事業 採択団体

パターン（２）（これから地域との関わりを持とうとする者等に対して）

提案団体	事業のポイント、独自性
<p>岩手県 【一関市・釜石市】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の事業承継問題が深刻化する地域において、将来的な担い手や事業運営に継続的に関わる人材を確保する。 ・東日本大震災の復興過程で生まれた関係人口をはじめ、地域で働く関心が高い層へアプローチし、参加者と現地企業の継続的な関わりを創出する。 ・復興過程で深い関わりができた企業や現地の中間支援組織と連携。
<p><small>なんとし</small> 南砺市 (富山県)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・祭り等の伝統行事の維持や耕作放棄地の低減等の地域課題の自律的な解決を図る。 ・ICTプラットフォームを構築し、「応援市民制度」(H28～)の登録者が有する知見やスキルと地域課題をマッチング。 ・現地メンターと地域おこし協力隊員が連携。
<p>福井県 【福井市・鯖江市・美浜町・若狭町】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗を活用したリノベーションによるまちづくりや、里山里海湖の地域資源を活かした「なりわい」づくり等に関わる都市人材を誘致する。 ・CSV活動に取り組む企業グループと連携し、地方での貢献活動に関心を持つ企業人材と地域をマッチング。 ・31年度以降、県内全市町への横展開を支援。
<p>長野県 【長野市・小川村】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長野市鬼無里地区の様々な素材を活用し、効果的に伝えていく人材や、小川村の伝統文化の担い手や地域の困りごとを解決する人材を確保する。 ・関係人口の創出に実績がある有識者が伴走支援するほか、県内市町村向けの成果発表会を通じて、ノウハウを共有。
<p><small>ますだし</small> 益田市 【津和野町・吉賀町】 (島根県)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏との交流の活性化や萩・石見空港の利用促進を目指し、都市交流分野の知見やスキルを持った人材を確保する。 ・現地メンターに加えて首都圏にもメンターと活動拠点(津和野町東京事務所内)を設け、関係人口の首都圏における活動をサポート。 ・「益田圏域定住自立圏」における市町村連携により実施。
<p><small>おおなんちょう</small> 邑南町 (島根県)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年3月に廃線となったJR三江線の跡地を活用した「レールパーク構想」やライトアップイベントに継続的に関わる人材を確保する。 ・鉄道ファンや中山間地域の地域づくりに関心を持つ人々にアプローチし、人口減少が著しい羽須美地区を持続可能な地区に転換する。 ・広島市と松江市に、関係人口が集まる「関係案内所」を開設。
<p><small>ふくやまし</small> 福山市 (広島県)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の山間部と島しょ部における地域コミュニティの維持に向けて、ICTを活用した地域づくりや魅力発信に関する専門知識を有する人材を募集。 ・福山市立大学と連携し、地域に継続的に関わる若者や関係人口の創出につなげる。 ・大学に「地域活力創生プラットフォーム」(仮称)を設置し、他地域の活動も支援。
<p>徳島県 【美馬市・佐那河内村・美波町】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・阿波おどりファンを中心に、古民家を活用した「うだつの町並み」の活性化や地場産材の利活用、起業・継業に取り組む人材を確保する。 ・全国の阿波おどり「連」を活用し、「関係案内所」(仮称)を構築。 ・県の若者応援サイトに、都市部の人材と徳島県をつなぐ「マッチング支援」機能を追加。
<p><small>みなみおぐにまち</small> 南小国町 (熊本県)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・黒川温泉を中心とする温泉旅館ビジネスから地域その他産業への波及効果を生み出す施策や、滞在型観光まちづくりに取り組む人材を確保する。 ・熊本に貢献したいという意欲を有する人材のネットワーク(クマコネメンバー)やプロボノマッチング団体を通じてアプローチし、具体的な実行計画案を作成する。

【】内は、提案団体と連携する団体